

横浜市立市沢小学校 学校評価報告（平成25年度～平成27年度）

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・重点研究会、基礎研修を通して授業改善を図り、ブロック研究会で授業の情報交換を行い、日々の授業で実践する。	・重点研や基礎研を充実させて取り組んできた。授業や教材など、学年・ブロックでの協力体制もできている。家庭との連携をより充実させ、家庭学習の推進を図る。	A ⓐ C D
2 豊かな 心	・朝の読書活動、ミュージック広場を通して情操教育を充実させる。 ・道徳の授業を充実させ、各学級で年1回道徳の授業公開を行う。	・すぐに効果が表れるわけではないので、継続していくことで情操面が耕されていくと考える。道徳の授業はより意図的・計画的に行う必要がある。思いやりの心を育む場面を多く作っていく。	A ⓐ C D
3 健やかな 体	・スポーツ広場で短縄跳び、長縄跳びを取り上げ、年間を通して指導する。縄跳びカードを作成し、継続的に取り組めるようにする。	・年間を通して継続的に行っている。縄跳びの学習カードは、学年の実態に応じて使っていく。	A ⓐ C D
4 教育課 程・学習 指導	・「市沢っ子きまり（学習編）」で学習のルールを理解させ、落ち着いて学習に取り組めるようにする。 ・少人数指導では、児童の実態に応じて柔軟な指導体制を組んで指導する。	・「市沢っ子」のきまりだけでなく、日々学習のルールを指導している。しかし、確実な定着は今一歩である。視覚的な掲示物を工夫するなどして効果があがるようにしている。	A ⓐ C D
5 児童・生 徒指導	・「おあしす運動」で毎月重点を決めて朝会で呼びかけ、年間を通して継続して指導する。 ・ブロック単位でも、「おあしす運動」に関わる取組を行う。	・教師と子どもとの間の挨拶はおおむねできているが、子どもたち同士や子どもと地域・保護者の間では、今後も継続して指導する必要がある。	A ⓐ C D
6 地域連携	・中期学校経営方針の共通理解を図るため、学校説明、学年懇談会でも説明をする。 ・学校ホームページを充実させ、教育活動理解の手立てとする。	・子どもの実態や行事のねらいなどは懇談会やたよりで伝えているが、学校の教育目標や経営方針などは掲示物や写真などを工夫してわかりやすくするのもよい。HPはより充実を図る。	A ⓐ C D
7 人材育成 組織運営	・研究研修部が基礎研修を中心に授業実践や実技研修等の具体的な活動を毎月定期的に位置付けて実施する。	・実施し、充実させている。教育技術だけでなく、学校人として人間力のアップにつながるようにしていく。	A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・中学校の学校だよりを回覧することにより、各校の様子がわかるようになってきた。授業を見合ったり、職員交流をしたりして成果をあげている。
学校関係者 評価結果	・自己評価するにあたっては、具体的に評価できるもの（達成度がわかるもの）を作ったかどうか。・挨拶は家庭でのしつけが最も大切であると感じた。・市沢でも目玉になるような活動（スポーツや音楽活動）が起こることを期待したい。・概ね満足の評価がほとんどなので安心できた。

評価結果に 対する 学校の見解	・学力に関しては「ねらい」に即して児童の達成度を評価している。時には数値化している。また、人権目標や生活目標などは学年ごとや月ごとに目標を設けて児童の様子を日頃から見取ることで評価につなげようとしている。・本校はミュージック広場やスポーツ広場で情操教育を育んだり体力の向上に取り組んだりしている。また、数年間に渡り、朝読書や読み聞かせの時間設けて全校で取り組んでおり、読書習慣の定着を図っている。
-----------------------	--

学校経営 中期目標 達成状況	・ブロック（低・中・高）内での風通しがよく、協力・連携などが十分行われている。 ・全職員が目標に沿って取り組み、目標を達成しつつある部分もあるが、取組目標をより共通理解して取り組んでいく。
----------------------	---

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・重点研究会、基礎研修を通して授業改善を図り、ブロック研究会で授業の情報交換を行い、日々の授業で実践する。	・教職員の研究・研修が充実し、その効果が児童の学習意欲の向上につながっている傾向が見られる。より定着を図るため日々の授業実践を大切にしていく。また、引き続き家庭学習の習慣が身につくように指導を重ねていく。	A ⓐ C D
2 豊かな 心	朝の読書活動、ミュージック広場を通して情操教育を充実させる。 ・道徳の授業を充実させ、各学級で年1回道徳の授業公開を行う。	・学校生活全体のあらゆる場面を通して道徳的な情操教育を今以上に積み重ねていく。道徳の授業は指導内容のねらいを意識して指導を積み重ねていく。	A ⓐ C D
3 健やかな 体	・スポーツ広場で短縄跳び、長縄跳びを取り上げ、年間を通して指導する。縄跳びカードを作成し、継続的に取り組めるようにする。	・スポーツ広場においては活発に縄跳びに取り組む児童がほとんどである。休み時間など継続的に取り組めるように学年に応じた声かけや児童の委員会からのアプローチを計画していく。	A ⓐ C D
4 教育課 程・学習 指導	・「市沢っ子きまり（学習編）」で学習のルールを理解させ、落ち着いて学習に取り組めるようにする。 ・少人数指導では、児童の実態に応じて柔軟な指導体制を組んで指導する。	・学習ルールの指導を積み重ねてきたので、年々児童は落ち着いて授業に取り組むようになってきている。しかし、児童の道徳規範や休み時間・校外での社会規範などは今後も指導の継続を要する。少人数指導では柔軟な指導体制を組み、より一層効果的な指導に努めたい。	A B ⓐ D
5 児童・生 徒指導	・「おあしす運動」で毎月重点を決めて朝会で呼びかけ、年間を通して継続して指導する。 ・ブロック単位でも、「おあしす運動」に関わる取組を行う。	・「おあしす運動」は年間を通して今後も指導をしていく。子どもたち同士でより活発に挨拶ができるように、職員の声かけや運営委員会の児童を中心にあいさつ運動に取り組んでいく。	A ⓐ C D
6 地域連携	・中期学校経営方針の共通理解を図るため、学校説明、学年懇談会でも説明をする。 ・学校ホームページを充実させ、教育活動理解の手立てとする。	・フェスタや運動会、読書ボランティアなど様々な場で協力を得ている。学校HPについては、より充実を図るために担当者を中心に今年度中に全面リニューアルをしていく。学校教育目標は学校だよりや校内掲示物などでも発信していく。	A ⓐ C D
7 人材育成 組織運営	・研究研修部が基礎研修を中心に授業実践や実技研修等の具体的な活動を毎月定期的に位置付けて実施する。	・算数の重点研究や基礎研修などが充実している。 ・教育技術だけでなく、人間力の向上を図るために今後も組織的に取り組んでいく	A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・「あいさつ運動」の成果が現れているように思う。ミュージック広場を通して音楽を好む児童が増えてきているように感じる。また、市沢フェスタでは、地域の方々との交流が図られ、地域連携がなされている。
学校関係者 評価結果	・挨拶については「知らない人に声をかけない」という大人の指導や子どもたちの意識もあり、積極的にはしない児童もいる。しかし、顔見知りの大人には（例えば見守り隊・学援隊など）よく挨拶をしている。本校でもここ10年で地域の絆、家庭の絆、子どもとの絆が失われつつあるように感じる。しつけの基本は家庭ではあるが、学校で「おあしす運動」の推進をより積極的にしていきたい。

評価結果に 対する 学校の見解	・職員の評価に対する意識が高くなり、改善すべき点もより明確に見えてきている。今回の反省を踏まえ、年度末反省をしっかりと行い、次年度は目標をより焦点化して課題を解決していく。また、引き続き保護者に協力を求めていく。
-----------------------	--

学校経営 中期目標 達成状況	○人材育成については教職員の努力もあり成果をあげている。学習面では、基礎・基本の定着を図るべく指導を行っているが、より伸びていくように授業改善に努める。○地域や保護者から授業アンケート・行事アンケートを書いていただき、それをもとに学校運営や授業展開の見直しを行っている。
----------------------	---

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4 教育課 程・学習 指導			A B C D
5 児童・生 徒指導			A B C D
6 地域連携			A B C D
7 人材育成 組織運営			A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果			
学校関係者 評価結果			
評価結果に 対する 学校の見解			
学校経営 中期目標 達成状況			